

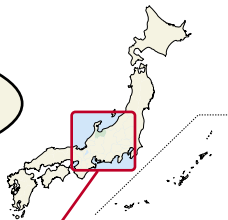
JOMONパーク 桜町遺跡ガイド

桜町縄文人の文化と暮らし



さくらまち いせき

Q. 桜町遺跡はどこにあるの？



にしかわ
富山県の一番西側、小矢部市にあります。国道8号のすぐそばです。

● 高速道路 (能越自動車道・北陸自動車道)

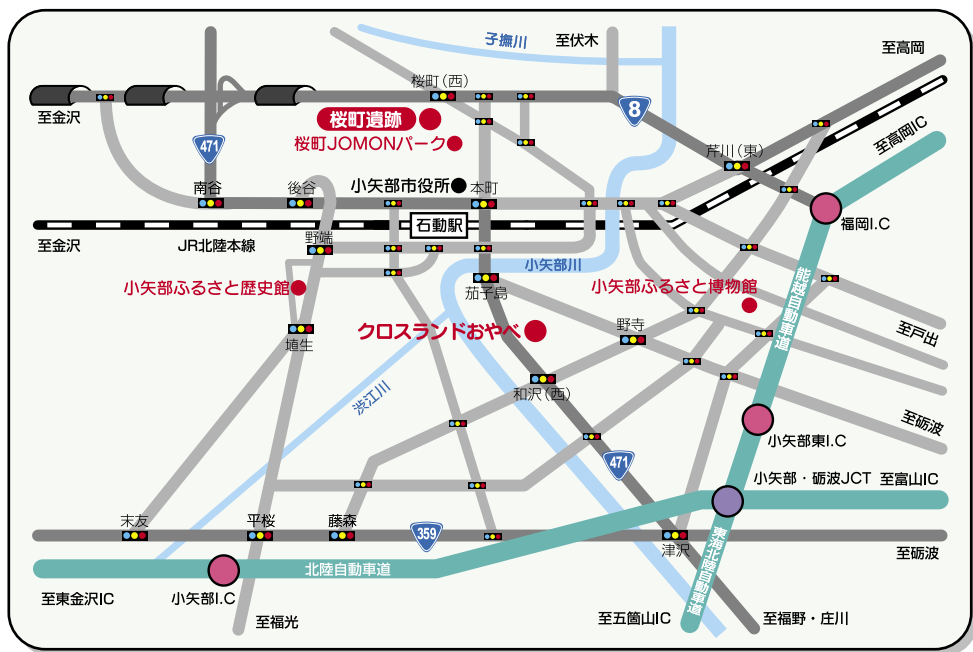
福岡インターICより車で5分

小矢部インター東ICより車で10分

小矢部インターICより車で20分

● 電車 (JR北陸本線)

石動駅よりタクシーで5分



遺跡ってなあに？

「昔の人が生活していた跡あと」のことです。建物の跡たてものやおまつりの跡などがそうで、遺跡から見つかったものを「遺物いぶつ」といいます。

桜町遺跡しょうかいの紹介

- Q. 桜町遺跡はどこにあるの？ ①
- Q. 桜町遺跡ちゅうもくが注目される
そのわけは？ ③
- 「縄文人じょうもんじん」ってだあれ？ ⑤
 - 桜町縄文人の生活 ⑦
- Q. 桜町遺跡さろにはいつ頃から
人が住み始めたの？ ⑨
- 1 採集さいしゅうと調理ちょうり ⑪
- 2 狩りかと漁撈ぎょうらう ⑲
- 3 祈りいのと建築けんちく ⑲
- 4 飾りかざ ⑳
- 5 謎なぞの木材 ㉓

市民グループしみんの紹介

- 小矢部ふるさと学園講座かくえんこうざ ㉔
 - 桜町石斧せきぶの会 ㉖
 - 桜町縄文土器じょうもん ど きの会 ㉘
 - 縄文屋じょうもんや ㉚
 - 縄文ごみみの会 ㉜
 - ひょうたんひょうたんと縄文の会 ㉞
- 桜町JOMONパーク見取図みとりず ㉠
- 富山県の縄文遺跡 ㉣
- 全国の縄文遺跡 ㉦
- 小矢部市内の縄文遺跡 ㉧
- 白谷岡ノ城北遺跡うすたにおかのしろぎたいせき
 - 高木山遺跡たかぎやまいせき
 - 埴生上野遺跡はにゅうわのいせき
 - 屋波牧遺跡やなみまきいせき
- 小矢部市内の縄文遺跡年表 ㉩




こんにちは！私の名前は「ごごみちゃん」です。
平成9年に桜町遺跡から出土したコゴミせいの「精」なの。
わたしと一緒いっしょに縄文の世界を旅して
桜町遺跡に住んでいた人がどんな生活たいけんをしていたのか、
体験してみましよう♪



Q. 桜町遺跡が注目される そのわけは？

桜町遺跡は、30年ほど前からその存在が知られており、東西約1km南北約600mに広がる大きな遺跡です。国道8号バイパスの建設に伴い、昭和55年から小矢部市教育委員会が発掘

調査^{ちようさ}  を行っています。これまでの調査では、縄文、弥生、古墳、飛鳥、奈良、平安、南北朝、室町、戦国、江戸の各時代のものが出土しています。

その名が全国に知られるようになったのは、昭和63年のことです。谷のなかにある舟岡地区から、全国で初めて縄文時代の高床建物の柱が出土したためです。平成9年にもさまざまな加工を加えた木材が大量に出土し、平成12年には北陸独特の遺構である環状木柱列も発見され、縄文人の建築物や木材加工の様子を知ることができます。木材のような有機物は、通常の遺跡では腐って残らないものですが、谷を流れる水によって奇跡的に保護されていたものです。木材のほかにも、斧柄・漆塗鉢などの木製品、木の実や編物が残っており、縄文人の暮らしぶりを具体的に知ることができます。

発掘調査ってなあに？

発掘調査は、道路建設工事が行われる前に、遺跡がいつの時代のもので、どのようにして残ったものなのかをつきとめるために、地面の下に埋もれている人々の活動の痕跡を記録したり、埋蔵物などを取り出すために行われました。

桜町遺跡では、飛鳥・奈良・平安時代の大規模な集落跡もあり、「長岡」と記した墨書土器が出土したことから、この地域が平安時代の文書『和名類聚抄』に見える長岡郷にあたることもあきらかになりました。



桜町遺跡の発掘風景

桜町遺跡(舟岡地区)の全景

ぜん けい



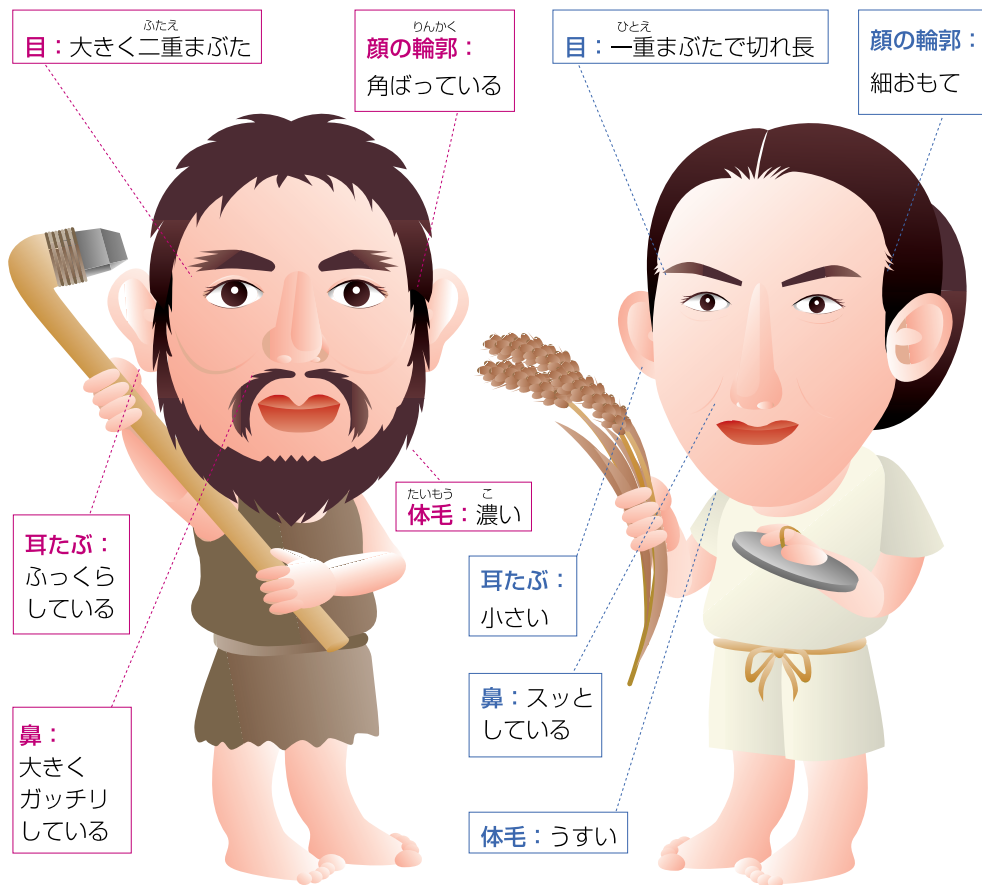


Q.「縄文人」ってだあれ？

縄文時代に生きていた人たちのことです。専門用語ではありませんが、一般的に親しみをこめて呼ぶ名前です。下の絵の縄文人と弥生人の顔と比べてみましょう。どんな違いがありますか？

縄文人

弥生人



Q. 縄文人の身長は？

縄文時代の人たちは現在ではもう生きていないので、遺跡から出土した人骨から縄文人の身長を計算します。

西日本の縄文人の平均身長は男性で約154cm、女性で約149cmあったことがわかっています。

ちなみに現代人の平均身長は、男性約171cm、女性約158cm(2002年)です。

Q. 縄文人の平均寿命は？

男女ともに約31歳頃と言われてます。現在のように食料が豊富になく、お医者さんもいなかったからでしょう。

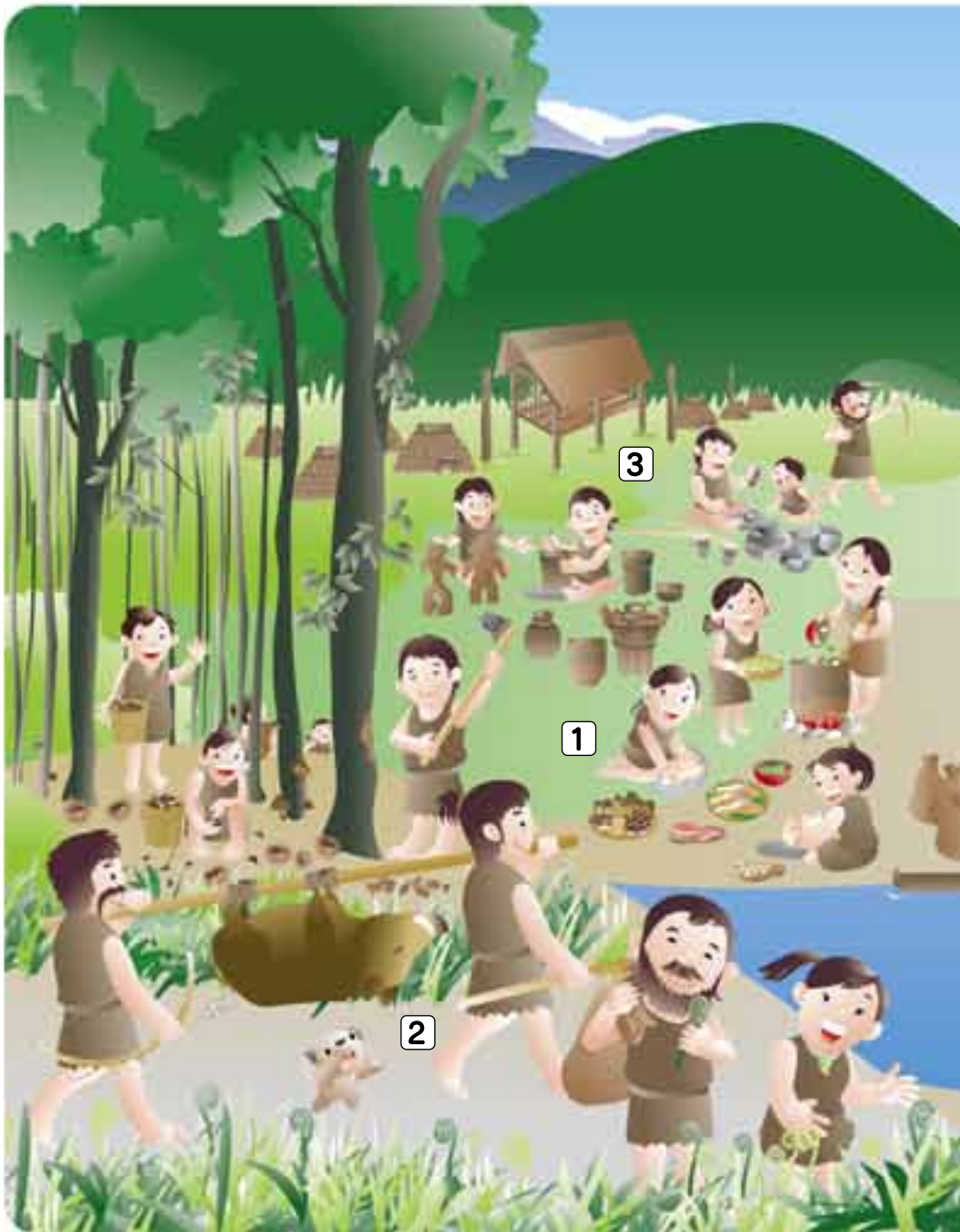
ちなみに現在の日本人の平均寿命は、男性約78歳、女性約85歳(2002年)で、縄文時代と比べて2.5倍以上長生きになりました。

Q. 縄文人は何年前に生きてたの？

今から約13,000年前～約2,300年前に生きていた人たちです。

当時の人々は、森では狩りや木の実・山菜取りをし、川では魚を捕まえていました。また集落では、豊かな暮らしを自然の神に祈り、祭りなども行われました。他の集落との交流もあったことも分かっています。

じょう もん じん
桜町縄文人の生活





1 採集と調理

しょうかいこう いぶつ
【紹介遺構・遺物】

- 貯蔵穴 ちよぞうけつ
- 水場木組み みずば きぐみ
- 土器溜まり どきだまり
- くぼみ石・すり石
- カゴ・ザル
- 縄・編物 なわ あみもの
- クリ・クルミ・トチ・コゴミ
- ヒョウタン

2 狩りと漁撈

しょうかい遺構・遺物

- 弓・石鏃・イノシシ・シカ せきぞく
- サケ・サメ・石錘 せきすい

3 祈りと建築

しょうかい遺構・遺物

- 巨木柱 きよぼくちゆう
- 環状木柱列 かんじょうもくちゆうれつ
- 高床建物 たかゆかたもの
- 磨製石斧・斧柄 ませい せきふ おのえ
- 土偶・石棒・石刀・岩版 まがたま せきぼう せきとう がんばん
- 人体文付土器・動物顔付土器 じんたいもんつきどき どうぶつかおつきどき
- 漆塗鉢・漆塗土器 うるしぬりはち うるしぬりどき

4 飾り

しょうかい遺構・遺物

- 勾玉・小玉・耳飾り・漆塗櫛 まがたま こだま みみかざ うるしぬりくし

5 謎の木材

しょうかい遺構・遺物

- Y字材 ワイジざい
- 彫刻のある材 ちようこく ざい



い せ き Q. 桜町遺跡にはいつごろから人が住み始めたの？

げんざい じょうもんじだいそうき
現在分かっているところで、縄文時代早期（約8,000年前）の
ど き しゆつど
土器が出土しているので、その頃にはもうすでに人が住んでいた
のでしょ。う。

ちゅうき ばんき
桜町遺跡では縄文時代中期～晩期（約5,000年前～2,300年前）の土器が多く
まつ しよとう じ き しよど しゅうちゅうく
出土しています。中期末～後期初頭の時期は、谷の入り口に焼土や土器の集中区（土
だ みずば よ きく
器溜まり）、太い柱を埋めた穴、水場と呼ばれる木組みなどが残されていました。

ばんき なかごろ ちよそうけつ かんじょうもくちゅうれつ よ
後期末～晩期中頃の時期は、谷の中ほどに土器溜まりや貯蔵穴、環状木柱列と呼
しごう
ばれる遺構が残されていました。

遺跡に何年前に人が住んでいたのかを知る手がかりは土器です。縄文土器の形や
もんよう とくちよう へんねん じ き べつ ちいき べつ
文様の特徴から、「縄文土器編年」と呼ばれる時期別地域別の変化の順序があきら
かにされています。

土 器

ちようろ
土器は土を器の形にこねて焼いたものです。縄文人にとって土器は、調理したり
く
水を汲んだり食べ物を入れたりとさまざまなことができる便利な道具でした。縄文
時代は約1万年間続いたので、その間に土器の形や文様もだんだんと変化していき
ました。桜町遺跡から出土した土器でその変化の流れを追ってみましょう。

8,000年前

おしがたもん ● 押型文土器 (早期)

じく
特徴：木の軸に
だえん ほ
楕円文様を彫り
ころ
表面に転がして
つけた文様



6,000年前

ごくらく じ しき ● 極楽寺式土器 (前期)

かい
特徴：縄文や貝
から
殻などで土器表
面を引っかいた
ような文様



◎ 4,400年前 ◎

●古府式土器(中期)



特徴：竹を半分に
割った先でつけた
曲線文様

◎ 4,200年前 ◎

●串田新式土器(中期末)



特徴：貝殻のふちを押つけた刻み文様

◎ 4,000年前 ◎

●中津式土器(後期初頭)



特徴：ヘラで
幾何学的な文
様を描き、そ
の中に縄文を
転がした文様

◎ 3,000年前 ◎

●御経塚式土器(晩期)



特徴：三叉文様

「縄文」の語源は…?

文字のとおり縄目の文様のことで、縄文時代の土器にはよく使われます。もともとは明治時代にアメリカの動物学者モースがオホモリ貝塚(東京都)で発見し、縄目のついた土器に「コード・マークド・ポタリー」の名称をつけ、それを「索紋土器」と和訳しました。しかし意味が難しく、一般に広がりませんでした。その後、考古学者の白井光太郎は、これを「縄紋土器」と適訳して発表したことから、この言葉が一般的になり、やがて縄紋は縄文に改められました。

1 採集と調理

げんざい しぜん じょうもんじだい めぐ
現在よりも自然が豊かだった縄文時代、縄文人が生きていく上で自然の恵みはと
ても大切なものでした。木の実や山菜を集めてくることは、狩りよりも安全に食料が
え
得られ、またそれらを食べることによってビタミンの補給にもなりました。

いせき
桜町遺跡ではカゴやザルなどの入れ物や、コゴミ・クリ・クルミ・トチといった木の
実が出土しています。今みなさんが体験できるクリ拾いや山菜採りを、縄文人もして
いたと思うと不思議となつかしい気持ちになりませんか？

狩りや採集で手に入れた食料も、そのままでは食べられません。縄文人たちは焼く、
に た くら かざ
煮る、炊くなど現在から比べると限られた調理方法、塩などの限られた調味料で食材
を調理していました。おいしい料理を食べる楽しい食事のひとつときは彼らの疲れを
いや
癒してくれたことでしょう。あなたが縄文人ならどんな風に料理しますか？



貯蔵穴

貯蔵穴とは食料を蓄えておく穴のことです。桜町遺跡内を流れる谷川の両岸から18カ所発見されました。穴の大きさは、直径約0.8～1m深さは30～90cmの円筒形です。

貯蔵穴の中には、ドングリを詰めた上に木材と樹皮で蓋をしたものがあり、縄文人の貯蔵方法がよくわかります。

このような川辺に作られているのは、水浸けで保管するためと考えられます。

貯蔵穴からは、他にもアラカシ・クルミ・トチノミが出土しています。縄文時代の冷蔵庫とも言えるでしょう。



約3,000年前（縄文時代晩期）の貯蔵穴



みず ば き く

水場木組み

川(幅約11m深さ約1.8m)から多数の木材が出土しました。木材は川底からその上80cmほどの間に残っていました。木材は、川の中に柱と板を杭で止めてコの字状の囲みを作ったもの、川岸に柱を重ねて杭で止めたもの、川の中に柱を並べて杭で止めたものなどがあり、水場木組みと呼んでいます。

コの字状の囲みは、水汲みや木の実の水さらし場、川岸に置かれた木材は水辺での作業の足場と考えられます。また、製作途中の木製品もあることから木製品の加工工場や貯木場でもあったと考えられます。

木材の中には、穴をあけたもの、えぐりのあるもの、板に加工したものなどがあり、高床建物などの建築材が転用されたものと考えられています。





写真は4,000年前じょうもんじだいこうきしやう（縄文時代後期初頭）の水場木組み（東から）

桜町遺跡いせきからは、2,700
年前（縄文時代晩期ばんき）の水場
木組みはっけんも発見されています。



同上（南から） 長さ 2m 幅 40cm

ど き だ 土器溜まり

谷の入り口中央部は中州状の高まりがあり、その東端と西端に約4,000年前の土器溜まりが残されていました。土器溜まりとは、その名のとおりに土器が多く出土した場所です。

土器溜まりの中には、赤く焼けたところや焼土のブロックが約20カ所残されており、何らかの目的で火が焚かれたことを物語っています。土器に混じって、シカやイノシシ、サケ・マスの焼けた骨が出土しています。また、川の中からクリやクルミなどの木の実も出土しています。そのようなことから、この焼土は、動物や植物を焼いたり煮たりして食料に加工するための煮炊き場(炉)であったものと考えられます。



焼土 直径 約50cm



土器溜まり

くぼみ石・すり石

クルミなどの木の実は、くぼみ石を使って
かた から わ なかみ
って硬い殻を割って中身を取り出して
いたようです。木の实などをすりつぶ
すためのすり石も使われました。



くぼみ石 長さ 11.5cm



くぼみ石とクルミの出土状況じょうきょう

カゴ・ザル

カゴやザルなどの入れ物は草木の皮や蔓などの繊維を編んで作ったものです。
カゴは幅13cm、高さ24cmのもので、中にクルミやトチノミの種皮が入った状態で
出土しています。



ザル



網代編みのカゴ



もじり編みのカゴ



なわ あみ もの
縄・編物

桜町遺跡では、縄と編物がたくさん出土していることも大きな特徴です。

縄は、植物繊維を撚り合わせたもので、建物の柱などを縛るのに用いられたことでしょう。また、細いものは土器の表面に転がして、縄文文様の施文具ともなります。

編物には、茎や蔓を絡ませて編んだもじり編み、植物の茎や竹や木を薄く削ったものを縦横に編む網代、植物繊維を縦横に密に編んだ編布があります。

もじり編みや網代の技術は、カゴ・ザル・ゴザを作るのに、編布の技術は、袋や衣服を作るのに用いられたと考えられます。



縄



むす め
縄の結び目



ゴザのような編物

クリ・クルミ・トチ・コゴミ

桜町縄文人は、木の実などを主要な食料としていたようです。

水場からは、野生のクリとは違う粒の大きなクリの
実の皮が出土しました。科学的な分析をしたところ、
栽培されていたとの見方も出てきました。水場には、
クリ材が多いということもあり、大切に管理されてい
たことは間違いないようです。

水場の岸辺には、トチの木が生えていましたし、ク
ルミの殻も大量に出土しています。

縄文人は、現代のわれわれと同じように、ワラビ・ゼ
ンマイ・キノコ・ヤマイモなども利用していたと考えら
れていますが、実物が発見されることはほとんどあり
ません。



クサノテツ(コゴミ) 長さ 5.5cm



クリの出土状況

ヒョウタン

縄文時代から現代に至るまで日本で愛されてきたヒョウタンは、縄文時代にすでに栽培されていた可能性のある植物です。縄文時代は貯蔵具や食器、水入れなどに使われていたようです。



桜町遺跡から出土したヒョウタン 直径 約7cm

✎ ヒョウタンの出土

ヒョウタンは、富山県内では、小杉町南太閤山 I 遺跡（縄文時代早期・約6,000年前）から果皮の一部が、上市町江上A遺跡（弥生時代後期・約1,800年前）から長さ18～25cmの首長フラスコ形のものが、立山町辻遺跡（奈良時代）から径12cmの球形のものが出土しています。ヒョウタンは、「フクベ」または「ヒサゴ」とも呼ばれ、辻遺跡では杓子として利用されていました。遺跡から出土するものには発育不十分なものが多いことから、野菜としての利用も想定されています。

② 狩りと漁撈

狩りは縄文人にとって貴重なタンパク質を得る源でした。

桜町遺跡ではシカ・イノシシ・ノウサギ・カエル・ムササビ・イタチ・テン・タヌキなどの小動物、鳥、サケ・マス・コイ・フナ・ウグイなどの淡水魚、タイ・クロダイ・サメなどの海洋魚といった様々な動物を食べていたことが、出土した骨などから分かっています。



せきぞく
石鏃

左：長さ 4.3cm 右：長さ 3.7cm



いしざじ

石匙(ナイフ) 幅 5.7cm

ゆみ せき ぞく 弓・石鏃・イノシシ・シカ

弓は、弦の反動で矢を飛ばす道具、
石鏃は、矢の先に付けて、動物の体内
に食い込ませて動物を仕留める石器
です。

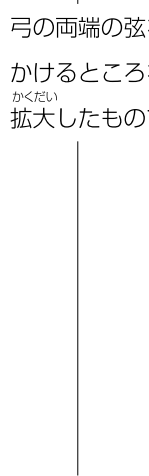
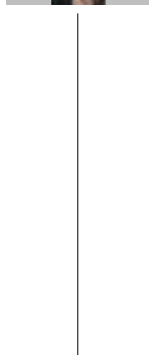
出土した弓は、推定長さ175cm
の大型です。全体に黒い漆が塗られ、
赤漆が彩色されたところも見られま
す。両端には、弦を取り付ける刻み
や突起が付けられており、装飾のた
めか中央部にも刻みが付いています。

石鏃は、長さが2～4cm、先端
尖らしたもので、矢に取りつ付ける
部分は、湾曲したものと突起を作り
出したものがあります。

桜町遺跡からは、イノシシやシカ
の歯や骨が出土していますから、そ
のような動物を射止めるのに用いら
れたものと考えられます。



イノシシの下あご



弓の両端の弦を
かけるところを
拡大したものです。

うるしぬり
漆塗弓

サケ・サメ・石錘

桜町縄文人は、サケ・マスの仲間を食料としていました。遺跡にあった土を持ち帰って水洗選別したところ、焼けた椎骨や歯が発見されました。

江戸時代の文書には、当時子撫川でサケ漁を行う人々がいたことが分かっていますから、縄文人も秋に子撫川にのぼってきたサケを捕まえたものと推測できます。

サケ漁には、網が用いられたと考えられます。網のおもりである石錘がたくさん出土しています。

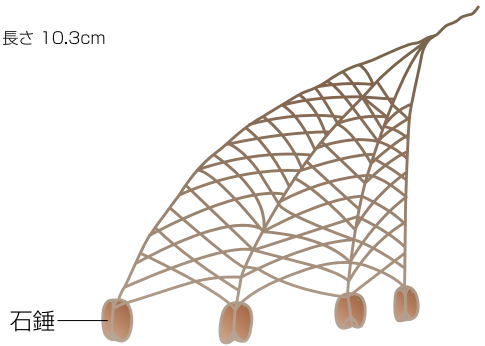
魚類の骨には、海にいるクロダイの骨やサメの歯もありました。桜町遺跡からもっとも近い海は石川県七塚町で、その距離は約16kmです。桜町縄文人がそこまで出かけてとったのか、海辺の縄文人と交換で手に入れたのかは、まだわかっていません。



サケ・マスの骨 左上：長さ 4mm



石錘 左上：長さ 10.3cm



まる き ぶね ふくげん

丸木舟の復元

平成15年に市民グループ「桜町石斧の会」が丸木舟を作りました。

写真はプールで試験進水をしているところです。



③ 祈りと建築

自然の脅威や病気など、人間にはどうしようもできないことに対して、縄文人はただ神に祈るしかありませんでした。大自然に対する尊敬と畏れを抱いた縄文人はどのようなおまつりを行っていたのでしょうか。

巨木柱

巨木柱が入った穴が5カ所発見されています。柱の太さは、40～80cmと一様でなく、中空になっているものもあります。

これらの柱については、第1調査区から高床建物の柱材とされる木材が出土していることもあり、そこに高床建物が立っていたと想定されていましたが、建物の柱のように対称的に並んでいないので、トーテムポールのような独立柱の可能性も考えられます。



巨木柱出土状況 太さ 50～80cm



かん じょう もく ちゅう れつ

環状木柱列

環状木柱列は、木を縦に半分に割った柱を円の形に並べたものです。桜町遺跡から発見された環状木柱列は太さ約60cmの太いクリ材を、直径6.4mの円周上に約2m間隔で10本立て並べたものです。そのうち8本は割り面を外に向けていますが、2本は弧面を向かい合わせており、入り口を表しているようです。

柱は、地面に埋め込まれた部分だけが残ったもので、地上部分がどのような形をしていたかは分かりません。柱だけが巡るウッドサークル説、住居のような建物説などがあります。

時期は、縄文時代晩期中頃（約2,700年前）で、同じ頃金沢市チカモリ遺跡や能都町真脇遺跡でも作られています。その分布が富山県と石川県に限られていることから、当時この地域にクリの巨木を用いた独特の文化が存在していたことがわかります。



ちゅうけつ
環状木柱列の柱穴



ふくげん
復元された環状木柱列
じょうもん
JOMONパーク（小矢部市桜町）

高床建物

高床建物とは、床が地面から離れて建てられている建物のことで、神をおまつりする場として使われていたのではないかとわれています。

桜町遺跡からは多くの建築用木材が出土しており、それらの中のいくつかは、高床建物を建てるのに使われていました。それまで弥生時代が最古と思われていた高床建物が、縄文時代までさかのぼることが明らかになりました。

クロスランドおやべ敷地内には、平成11年に市民グループが主体となって復元した高床建物が堂々とたっています。



おおがた
大型高床建物の復元
わしがしま
クロスランドおやべ敷地内(小矢部市鷺島)



高床建物って
すごい!



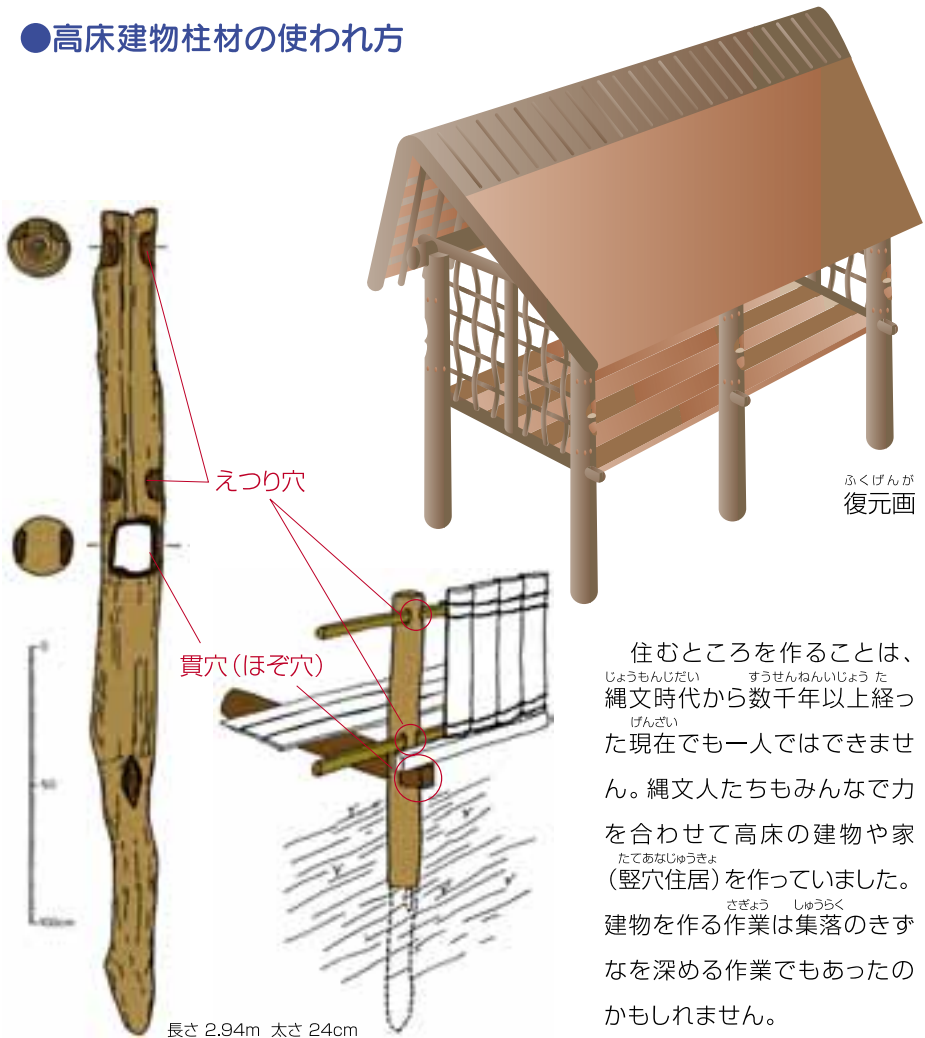
高床建物柱材の出土

貫穴(ほぞ穴)・えつり穴

第1調査区から出土した木材には、貫穴やえつり穴と呼ばれる加工を施した木材があります。貫穴(貫通した穴)は、その穴に十字になるように別の木材を差し込んで、柱と柱を連結させる穴と考えられています。

えつり穴は、柱に凹みを入れて、壁の横材を差し込んで固定するための穴と考えられています。どの加工技術も今日の技術につながる高度なものです。

●高床建物柱材の使われ方



住むところを作ることは、縄文時代から数千年以上経った現在でも一人ではできません。縄文人たちもみんなで力を合わせて高床の建物や家(竪穴住居)を作っていました。建物を作る作業は集落のきずなを深める作業でもあったのかもしれない。

磨製石斧・斧柄

けんちくようもくざい しゅつど かこう
建築用木材の出土した場所から、それを加工する磨製石斧と斧柄も出土しています。

磨製石斧は、たんざくがた はさき する とが ひょうめん みが
磨製石斧は、短冊形をしたものが多く、刃先を鋭く尖らせ、表面がきれいに磨かれています。石材は近辺でも手に入る砂岩や安山岩製のものもありますが、富山県と新潟県の県境付近で産出する蛇紋岩製のものが多くみられ、宝石として扱われるヒスイ製のものもあります。

え さし こ ほうしき
出土した斧柄は、柄の先に穴をあけて差込む方式ではなく、石斧のまわりを別の板でかこ なわ し こてい
で囲み、縄などで締めて固定する方式のものです。

ちが ばんのう
この方式であれば、石斧の大きさが多少違ってても固定できるので、万能斧柄といえます。



磨製石斧 左下：長さ 13cm



せきふがた どせいひん
石斧形土製品
長さ 7cm 上部欠け



ヒスイ製石斧
長さ 4.4cm



斧柄 長さ 73cm



平成15年に行われた石斧での立木伐採^{ぼっさい}



ど ぐう せき ぼう せき とう がん ばん
土偶・石棒・石刀・岩版

桜町縄文人は、土偶・石棒・石刀・岩版などを使って、神にさまざまな祈りを行いました。

土偶は縄文時代の人形です。体の一部が必ず欠けており、悪い部分が治るようにおまじないをしたのではないかと、また豊作を祈る儀式に用いられたのではないかと考えられています。桜町遺跡で出土したものは乳房が付けられており、女性を表しています。

線刻礫は、軟らかい石に顔を表しているとみられる穴や、衣服の模様を表した線を刻んだものです。岩版や岩偶と呼んでいるものと同じ仲間に入ります。用途についてはよくわかっていません。

また、縄文人の寿命は大変短かったため、石棒をおまつりして子孫繁栄のお祈りを捧げていたのでしょう。

石刀は、石で作った刀です。桜町縄文村の社会組織についてはよくわかりませんが、酋長の権威のシンボルであったのかもしれません。



石刀 下：長さ 21.8cm



土偶胴部 長さ 13cm



土偶頭部
長さ 4.5cm



線刻礫 長さ 5.7cm



じん たい もん つき ど き

どう ぶつ かお つき ど き

人体文付土器・動物顔付土器

土器の中でも人体や動物をかた
どった文様が付いている土器は珍
しく、祭りに使用したのではないかと
考えられています。桜町遺跡で
出土した人体文付土器は3,000
年前、動物顔付土器は約4,400年
前のものでしょうか。他の地方
で出土している人体文付土器は精
霊を表したものと考えられている
ことから、桜町遺跡で出土したも
のも精霊をイメージしたものとい
えるのかもしれませんが。



人体文付土器 人体長 4.3cm



動物顔付土器 顔長 5cm

うるし ぬり はち うるし ぬり ど き 漆塗鉢・漆塗土器

みずば
水場から、漆塗土器や漆塗鉢
しゅつど
が出土しました。

漆塗土器は、貯蔵用とみられる
つばつき
鍔付土器に、ベンガラ^まを混ぜ
て赤く染めた漆を内面と外面に
ぬ
塗ってあります。

漆塗鉢は2点あり、いずれも赤
くないがいぬ
く染めた漆が内外に塗られてい
ます。

ひとつは、環状の把手を付け、
ていぶこじょうおびもんうほ
外面底部に弧状の帯文が浮き彫
りされています。他のひとつは、
だんかたくちはち
口の下に段を付けた片口鉢です。

漆を塗る目的は、気密性を高
もくてききみつせい
める、強度を強くする、美しく飾
るといったことが考えられます。

わ
我が国では、北海道で今から
うるしせいひん
9,000年前の漆製品が出土して
うるしぎじゅつ
おり、縄文人が早くから漆技術を
み
身に付けていたことがわかって
きています。



じょうめん
上面



そくめん
側面



ていめん
底面

把手が付いた漆塗鉢 径 16~19cm 高さ 7cm



ベンガラってなあに？

がんりょうさんかてつしゅせいびん
赤色の顔料の一つで、酸化鉄（鉄を思い出してみてください。）主成分です。インドのベンガル
とくさんひん
地方の特産物であったためこの名前がつけました。



ちよくひ
出土直後の漆塗鉢



片口が付いた漆塗鉢 径約20cm



漆塗土器 口径17cm

桜町遺跡では、製作途
中の片口鉢も出土してい
ます。また、漆を溶かす
油に用いられるエゴマの種
や実も出土していますか
ら、漆製品の製作も行わ
れていたことが推測され
ます。



きばち みせいひん
木鉢の未製品

4 飾りかざり

縄文人じょうもんじんの身に付けていたアクセサリーは、現在のようなおしゃれの意味いみよりもまじないてき的な意味の方が強かったようです。現在みなさんがおしゃれに使う道具も、もともとはまじないに使われていたと思うとなんだか不思議ふしぎな気がしませんか？

もしかすると縄文人もアクセサリーを身につけてファッションコンテストをしていたのかもしれないね。





まが たま こ だま みみ かざ うるし めり くし
勾玉・小玉・耳飾り・漆塗櫛

桜町縄文人は、勾玉・耳飾り・櫛など、
 身体にいろいろな装身具を身に付けて
 していました。

勾玉は、Cの字型をしたもので、一
 方に紐を通す穴があいています。首に
 かけたり胸にぶら下げたりしていたの
 でしょう。

小玉は、小さな丸い玉で、数珠のよ
 うにいくつも連ねて用いられたものと
 考えられます。

勾玉や小玉は、きれいなヒスイや
 滑石で作られたものと土で作られた
 ものがあります。

耳飾りには、耳栓のような形のもの
 や滑車型のものがあります。土で作ら
 れていて、赤漆で彩色されているもの
 があります。

櫛は、髪に挿す堅櫛と呼ばれるものが
 あります。ひご状のものを束ねて芯に
 して、赤漆で固めた結歯式と呼ばれる
 ものです。歯はなくなっていますが、
 20本程度あったと思われます。縄文
 時代晩期のものです。



块状耳飾り 長さ 4.2cm



耳飾り 長さ 3cm



勾玉 右：長さ 3.5cm



ゆびわ
指輪 幅 1.7cm



漆塗櫛 幅 10cm

5 謎の木材

現在、今から数千年前の縄文時代のことを見たことがある人はいません。遺跡から出土しているものの中には、当時の人たちが一体どんなことに使っていたのかわからないものもあります。

みなさんも縄文人の気持ちになって、どのようなことに使われていたのか想像してみましょう。

Y字材

桜町遺跡ではY字型をしたクリの木材が出土しています。木がきれいに二股に分かれる部分を取り、分かれている部分は両側から平らに削り、股の先端に両方ともにえぐり込みがあります。Y字材は、大小2本が並んで出土しました。

今までにY字材を見たみなさんからは、建築用の木材、修羅、パチンコ、ベッド、人形などさまざまな意見が出ましたがこれらの中に正解はあるのでしょうか?みなさんも縄文人の気持ちになって考えてみてください。



修羅ってなあに?

重い荷物をのせて運搬するための木ぞりです。



Y字材 長さ 2.49m 太さ 32cm



彫刻のある材

この彫刻のある材は、木材の表面に
目のようなえぐり込みを互い違いに段々
に彫ってある木材です。

このような彫刻のある材は桜町遺
跡のほか、石川県の真脇遺跡やチカモ
リ遺跡など、全国に数えるほどしか出
土していません。

何に使われていたのかは分かっ
ていませんが、縄文人たちはこの材に祈
りを捧げていたのかもしれない。



彫刻のある材 長さ 2.04m



次のページからは
桜町遺跡を支援する市民グループ
6団体の紹介をしまーす

お や べ がく えん こう ざ 小矢部ふるさと学園講座

会員数

28名

会の設立

平成9年

平成9年に桜町遺跡から加工木材などの大発見が相次ぎ、桜町遺跡のこともっと知りたいという人たちが集まり、東部公民館を母体とした学習講座が誕生しました。

講座は、小矢部市教育委員会の専門家や考古学者を講師に招いて、縄文時代の基礎学習から始まり、他の縄文遺跡への探訪や、桜町遺跡の発掘体験学習も含めて、縄文時代についての知識を深めることが第一目標です。

活動内容

先に述べた学習講座の他、平成11年に小矢部市で縄文フェスティバル全国大会が開催され、全国各地からの多数の遺跡訪問者を迎えたことを契機に、遺跡ボランティアガイドへも活動分野を広めました。

また、講座生独自のガイドマニュアルを作成し、新しい出土品があればすぐにガイドマニュアルを増版し、現在四版目となりました。このガイドブックを基調として、遺跡の訪問者へ分かりやすく、適切なボランティアガイドをすることが第二目標です。

ボランティアガイドをはじめて5年目になりますが、現時点で約9,000人以上の訪問者を迎えています。



ボランティアガイドで見学者に説明

会員の声

小矢部市だけではなく県内各地から訪ねてきた小・中学生が、桜町遺跡の出土品に出会って驚くとともに、縄文時代に思いを馳せて質問をします。このような純粋な質問に対しては特に真剣に答えてあげなければ、という情熱や喜びが湧いてきます。

遠方からバイクで駆けつけて、桜町遺跡の出土品を見に来たという若い考古学愛好の方などに会おうとガイドの喜びを感じつつも、できるだけ正確に伝えなければという責任感も感じます。

全国で数ある縄文遺跡の中でも屈指のすばらしい内容をもつ桜町遺跡は私たちの誇りであり、縄文文化の新しい発見を訪問者の方々に説明できることは喜びでもあります。そしてそれ以上になんと多くのことを縄文人から学びとれることでしょうか。これは更に大きな習得です。



ふるさと学園講座一同

連絡先

田井村 勇二 (TEL : 0766-68-0997 東部公民館)

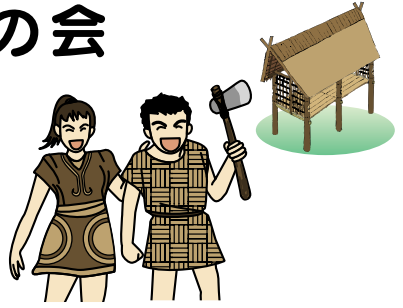
桜町石斧の会

会員数

20名

会の設立

平成11年7月



小矢部市で開催された「縄文フェスティバル」の中の「石斧による縄文高床建物の
人力復元」に参加したボランティアによって結成された桜町遺跡の市民応援団です。

活動内容

桜町遺跡の発掘成果を、より多くの人々に知ってもらうとともに、縄文人の暮らし
を体感することをつうじて、縄文文化の今日的意義を探っていきたいと日々活動し
ています。

今までに縄文丸木舟を始めとして、石斧・勾玉・縄文食・縄文服・土器太鼓づくりや
古代米の田植えと稲刈り、縄文アート展そして
火祭りなど、様々なイベントを行ってきました。



じょうもんしよくたいいげん かんじょうもくちゅうれつまえ
ガールスカウトの縄文食体験（環状木柱列前）



古代米の田植え



ひまつ
縄文の火祭り

活動目的

桜町石斧の会の目的は、

1. 桜町遺跡の歴史やロマンを体験学習を通じて次世代の子供たちに継承します。
2. 全国の遺跡と視察、イベントへの参加などを通じて交流を図ります。
3. 自主企画の事業により全国に情報発信し、桜町遺跡と小矢部市のPRに努めます。
4. 遺跡を通じた上記の活動により、郷土愛をはぐくみ、元気なまちづくりと地域の活性化につなげます。



さらしなの里「縄文まつり」の仮装大会で優勝



石斧を使って丸木舟づくり



なかおさけんちじ おおかしちよう ちようせん
中沖県知事・大家市長も挑戦



かんせい しんすい
完成した縄文丸木舟の進水

連絡先

やまもと まもる
山本 護 (TEL : 0766-67-3939)

ほしゅう
会員募集中

どなたでも会員になれます。

いっしょ
一緒に楽しみませんか。(年会費2,000円)

桜町縄文土器の会

会員数

25名

会の設立

平成11年9月

平成11年7月に開催された「縄文フェスティバル」の土器づくり体験コーナーの受講者が中心となり、桜町遺跡の応援とPRを目的に、「土器づくりの楽しさ」を味わうとともに、縄文遺跡愛好家にも楽しさを伝えたいとの思いを原動力として、同年9月に発足しました。

活動内容

現在、公民館土器づくり教室・市の行事・市内外小学校の体験学習にも協力し、他の同好会との交流・会員の作品展示会なども行い、地域に愛される会を目指しています。縄文土器は、その形や文様が、見る人の心を動かし、神秘的なもののさえ感じさせます。それは、世界に誇り得る素晴らしい焼き物ではないでしょうか。

会員は土器づくりをとおして、縄文時代を生きた人たちの声なき声に耳を傾け、縄文人と対話をしています。

会員の声

土器づくりはとても魅力的で楽しいのでみなさんも一度体験してみませんか？

今後は創作土器やメモリー的な土器も作りたいと思っています。



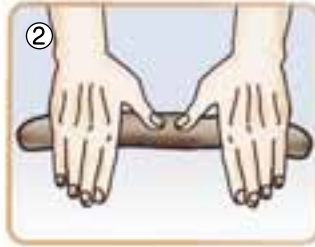
桜町縄文土器の会一同

縄文土器のつくり方



①

すな
ねんど
砂入り粘土をこね
土器の底をつくる



②

ひもをつくる



③

つみあげて形をつくる



④

形をととのえる



⑤

なわ
縄・竹・貝がらなどで
文様をつける



⑥

日かげで干す



⑦

みんな
土器づくりに
チャレンジ
してね!



土器づくり教室

みんなでたのしく土器を^{のや}焼き

イラスト参考：富山県埋蔵文化財センター編「昔むかしの早わかり」

連絡先

まつばら
松原

じろう
二郎

(TEL : 0766-67-0053)

じょうもんや 縄文屋

会員数

5名

会の設立

平成11年12月

平成11年7月、小矢部市で『縄文フェスティバル』^{ひら}が開かれました。そのときから縄文ネットワークでホームページを立ち上げる構想^{こうそう}はあったんですが、縄文時代と一緒に時間の流れがゆるく5ヶ月経ってやっと「縄文市場」^{いちば}を開くことができました。全国の縄文遺跡を持つ村人は是非参加してください。^{ぜひさんか}



がっき
縄文楽器づくり



まがたま
縄文勾玉づくり

活動内容

縄文をいかしたまちづくりを考える企画グループ。縄文に関する商品のホームページを開設し全国遺跡ボランティアとのネットワークづくりをめざしています。

下の縄文ファッションが気になる方、その他縄文グッズに興味のある方は、下記のホームページをチェックしてみてください。

<http://www2.ocn.ne.jp/~jyomonya/>
ホームページへのアクセスをお待ちしています。



縄文屋ホームページ



縄文服



せきわ
石斧



おりき
アンギン織機

連絡先

せきざわ 関沢 じんえつ 仁悦 (TEL : 0766-67-6972)

じょうもん 縄文ごごみの会

会員数

46名

会の設立

平成12年1月

小矢部市桜町遺跡いせき ほっけんの発見によりふるさとの歴史や文化を見直し、将来への町づくりや地域開発のために、私達は「縄文の街おやべ」のPR活動の一環として文化面からボランティア活動を行うことを目的とし、当会を設立致しました。

活動内容

これまで桜町遺跡ちなに因んでのキャンペーン参加、オリジナルソングじんく（桜町甚句、縄文まつり等）に4,000年前の当時はイメージし祭りを再現した踊りを振り付けました。

また、縄文服そうしよくひん、装飾品かくしゆを手作りし、縄文プロジェクト、各種イベント、施設慰問等も行い、年間を通じて研修会けんしゆかい、講習会こうしゆかいを行い縄文の街のPRにつとめています。



平成14年10月5日

アワ・キビの収穫祭しゆうかくさいに参加



平成15年6月8日

アワ・キビの収穫じょうもん（桜町JOMONパークにて）

オリジナルソング

今日までオリジナルの唄が5作になりましたが、その一部を紹介します。

古代の息吹き

一

流れは清けき 子撫川
草木はもゆる 稲葉山
四季折々の めぐみあり
古代の息吹き みちみちて

二

縄文のふるさと 桜町
匠の業を あらわして
朱塗りの鉢や 高床に
力あわせて いきいきと

三

遺跡の里に 編る夢
永遠の命を 受けつぎて
前進 市民は 手をとりて
未来のおやべ さんさんと

縄文まつり

一

サアサア 皆様
見てよ 聞いてよ
四千年前だよ
縄文まつり
手と手をつないで
輪になれ 輪になれ

二

サアサア 太鼓だ
笛だよ バチ棒だ
鳴らせよ 鳴らせよ
踊り 踊りだ
今日は まつりだ
めぐみのまつりだ

三

サアサア 突起だ
三叉彫りよ
男のたくましい
女のまごころ
うめよ ふやせよ
命をかけて

縄文万作節

一

今年しゃ エー ヨサコイ
今年しゃ 豊年きびそばささげ
縄文えごま 赤穂の山
豊年万作 ヨサコイホイホイ

二

今年しゃ エー ヨサコイ
今年しゃ 豊年あじろの籠に
実り豊かなあわにひえ
豊年万作 ヨサコイホイホイ

以下五番まで

連絡先

こむろ とみこ
小室 登美子 (TEL : 0766-67-2816)

ひょうたんと縄文じょうもんの会

会員数

10名

会の設立

平成14年5月9日

桜町遺跡いせきから瓢箪ひょうたんの器うつわのようなものが出土しゅつどしたことにあやかり、小矢部の地れきしてきに生
活した縄文人と瓢箪のかかわり、瓢箪の歴史的文化を考えます。

活動内容

1. 桜町遺跡いせきで4000年前の縄文時代じょうもんの地層とから採った土を使用して、桜町JOMONパークで瓢箪を育てます。
2. 縄文瓢箪じょうもんひょうたんが実り7月の開花時期かいがしきに「ひょうたん花見うたげの宴はな」を華やかに開催かいさい。黄昏時たそがれどき、
棚一面たないちめんに純白じゆんぱくの花おどが踊るさように咲き乱れるさ。琴ことの音ねが聞かれ、茶会ちやかいも開かれます。
3. 瓢箪ひょうたんの収穫しゅうかくは9月中旬ちゅうじゆんで保育所・小学校の皆さんさくら、更に一般いっぱんの皆さんを交えて収
穫祭さいが開かれます。
4. 瓢箪ひょうたんの展示会てんじかいと瓢箪ひょうたんの加工学習かこう。クロスランドおやべ、福岡町Uホール、福岡町
のつくりもんまつり、地区の公民館びんかてんでひょうたんの文化展ぶんかてんを開き、また保育所や
小学校などで瓢箪ひょうたんの絵付けえつけ、置物おきものや楽器がっきなどの加工しどうを指導しどうしています。

会員の声

ひょうたんの花見し会は縄文人じょうもんの楽しみしが偲おもばれるもので、暑いときひかげに日陰ひかげで行わ
れる茶会ちやかいは絶品ぜっぴん！桜の花見ひらに匹敵ひつてきする風流ふうりゅうなものです。小矢部市せの新しい名所めいしょにな
れればと思っています。

ひょうたんの作り方

【一年間の経過】

- 4月 種まき
はつなえ うえつけ
5月 初苗植付
かいか
7月 開花
しゅうかく
9月 瓢箪収穫→加工

加工は収穫してから2ヶ月ほど水に漬けた後、
たね しゅうぶんかんそう ふざひも むす
種出し、充分乾燥させる。口栓を作り房紐で結
んでから飾ります。

【一口メモ】

瓢箪は仕上がった色や姿が重要ポイントです。
すがた じゅうよう



桜町JOMONパークで
ひょうたんの実り



5月 苗植付 棚作りをする会員
なえうえつけ たなづく

連絡先

たかはし いわかず
高橋 岩一 (TEL : 0766-68-2601)

じょうもん みどりす 桜町JOMONパーク見取図



①クリ・クルミ・トチノキ・コナラの植栽 しよくざい



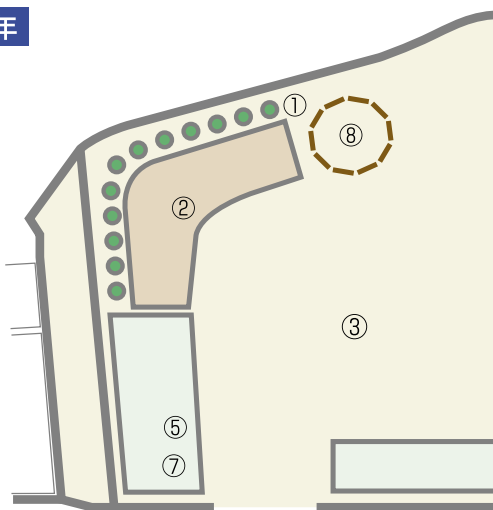
②水場の復元 みずば ふくげん



⑤縄文ポール

桜町JOMONパークの一年

- 4月 コゴミ採り と
- 5月 ひょうたん苗植付 なえ うえつけ
- 6月 アワ・キビの種まき たねまき
- 7月 縄文土器づくり どまき
ひょうたん花見会
- 8月 石斧づくり せきお
ポシットづくり まがたま
勾玉づくり まがたま
縄文土器野焼き
- 9月 ひょうたんの収穫 しほつかく
- 10月 アワ・キビの収穫 たいりやん
縄文食体験 たいりやん



⑥ひょうたんの花(7月)



⑦大賀ハス(8月) おおが



③縄文食体験



④桜町JOMONパーク出土品展示室
しゅつどひんてんじしつ



関連施設



クロスランドおやべにある高床建物
たかゆかたてもの
わしがしま
(鷺島)



⑧環状木柱列
かんじょうもくきゅうりゅう



ふるさと歴史館(埴生)
れきしかん はにゅう

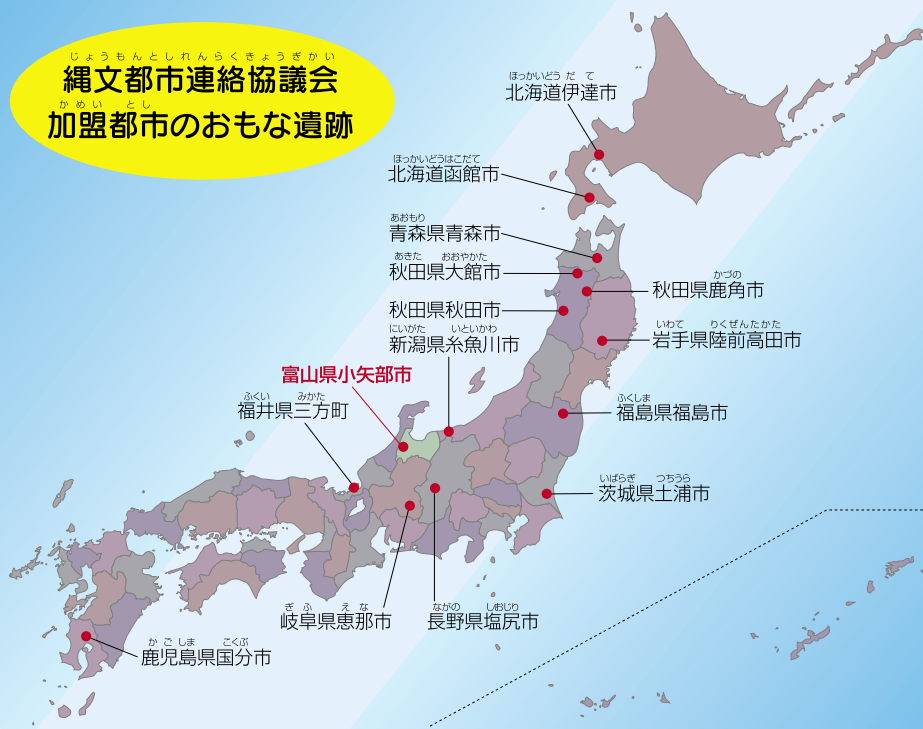
富山県の縄文遺跡



所在地	名称	特徴	特徴	指定年・別
氷見市	朝日貝塚	前期～後期の貝塚。我が国で初めて住居跡が発見された。		大11国指定
氷見市	大境洞窟住居跡	土の堆積から縄文土器が弥生土器より古いことが初めて確認された。		//
魚津市	桜峠遺跡	早期、中期。残りのよい押型文土器。		昭40県指定
宇奈月町	愛本新遺跡	中期～後期。ヤモリ様動物顔付土器。		昭45県指定
滑川市	本江遺跡	前期～後期。良好な後期中葉土器。		昭47県指定
氷見市	朝日貝塚出土硬玉製大珠	中期。長さ16.5cmで我が国最大級。		昭48国重文
朝日町	不動堂遺跡	中期前葉の長さ17m幅8mの日本最大級の竪穴住居跡。		昭49国指定
小杉町	水上谷遺跡	中期の集落跡。		昭50県指定
大門町	串田新遺跡	アナダラ属貝殻腹縁文を特徴とする中期後葉「串田新式土器」の発見地。		昭51国指定
大沢野町	直坂遺跡	草創期・早期・中期の遺跡。		昭56国指定
富山市	北代遺跡	中期を中心とした大規模集落跡。竪穴住居や高床倉庫を復元。		昭59国指定
大山町	東黒牧上野遺跡	中期の環状集落跡。壁面に2個一對の川原石を10個配する大型住居跡。		平5県指定
朝日町	境A遺跡出土品	早期～晩期。ヒスイ製玉類や蛇紋岩製磨製石斧を大量に製作。		平11国重文

全国の縄文遺跡

じょうもんとしれんらくきょうぎかい
縄文都市連絡協議会
 加盟都市のおもな遺跡



所在地	名称	特徴	指定年・別
北海道伊達市	北黄金貝塚	前期の貝塚。北海道式石冠と石臼。	昭62国指定
北海道函館市	サイベ沢遺跡	前期初頭～中期末の集落跡。	昭45道文
青森県青森市	三内丸山遺跡	前期～中期の大集落跡。巨木柱。	平12国特別
秋田県大館市	池内遺跡	前期。彫刻クルミ、漆塗り木製大鉢。	
秋田県鹿角市	大湯環状列石	後期の環状列石、配石、掘立柱建物。	昭31国特別
秋田県秋田市	地蔵田遺跡	弥生前期の木柵で囲まれた集落跡。	平8国指定
岩手県陸前高田市	中沢貝塚	中期～晩期の貝塚。人骨・埋葬犬。	平9国指定
福島県福島市	宮畑遺跡	中期～晩期。土屋根構造の竪穴住居。	平15国指定
茨城県土浦市	上高津貝塚	後期・晩期の大規模貝塚。	昭52国指定
新潟県糸魚川市	長者ヶ原遺跡	早期～後期。ヒスイ製品。	昭46国指定
長野県塩尻市	平出遺跡	中期の大規模集落跡。	昭27国指定
岐阜県恵那市	森腰遺跡	後期・晩期。御物石器。	
福井県三方町	鳥浜貝塚	草創期～前期の低湿地遺跡。丸木舟。	平14国重文
鹿児島県国分市	上野原遺跡	早期の竪穴住居群。	平11国指定

小矢部市内の縄文遺跡

臼谷岡ノ城北遺跡

渋江川の上流、標高70～76mの段丘上に立地する。縄文時代草創期の有舌尖頭器（石槍または石鏃）製作跡が、大小2カ所で見つっている。



有舌尖頭器とその未製品 左上：長さ3.8cm

高木山遺跡

小矢部市南部に広がる蟹谷丘陵より派生した標高70mの東にのびる舌状台地先端部に位置する。イノシシ形土製品が出土。長さ15cm、直径8cmの中空の円柱を横にして、片方に口・目等を表現し、底面に4本の脚部がつけられている。



イノシシ形土製品 長さ15cm

埴生上野遺跡

6世紀初頭の前方後円墳 若宮古墳（県指定史跡）がある埴生上野台地にある縄文時代前期～晩期の拠点遺跡。縄文人の精神文化を表したものと考えられる三角埴形土製品や匙形土製品が出土している。



匙形土製品



三角埴形土製品 長さ 6.8cm

屋波牧遺跡

桜町遺跡の西方約1kmにある縄文時代後期初頭の遺跡。丘陵上から竪穴住居1棟と土坑3基が発掘された。竪穴住居跡は、輪郭ははっきりしないが、川原石を方形に囲んだ石組炉がある。桜町遺跡に集まった集落のひとつと考えられる。



石組炉 長辺 85cm 短辺 80cm

小矢部市内の縄文遺跡年表

C 14 年代	時代区分	市内の主な縄文遺跡	おもなできごと
	旧石器		遊動生活をおくる。
13000 (年前)	草創期	白谷岡ノ城北遺跡	気候が温暖化し日本列島が大陸から離れ現在の形となる。 青森県大平山 I 遺跡 (土器の使用が始まる)
10000	早期		鹿児島県上野原遺跡 北海道垣ノ島B遺跡 (漆の使用が始まる) ・中国河姆渡遺跡 全国で定住生活が確立する。
6000	前期	宮中	福井県鳥浜貝塚
5000	中期	高木山 白谷岡 埴生 屋波 峠 八	・世界四大文明が始まる 青森県三内丸山遺跡 ・ピラミッド建設 北陸で串田新式土器が使われる。
4000	後期	村上野 柿ノ木平	秋田県大湯遺跡 (大規模なストーンサークルが造られる)
3000	晩期		北九州で稲作が始まる。
2300	弥生		・秦の始皇帝が中国を統一する 佐賀県吉野ヶ里遺跡

表紙・裏表紙イラスト

早川 和子(はやかわ かずこ)



イラストレーター。考古学の復元画を中心に、挿し絵、漫画、広告などに幅広く活躍。

宮崎県宮崎市生まれ。現在京都府在住。作品には『吉野ヶ里～繁栄した弥生都市』（草思社）のイラスト、『竜馬とおゆきのまっことみすてりいぜよ』（文溪堂）の挿し絵、平城宮跡公園案内版の復元イラストなど多数。

編集委員名簿

- ふるさと学園講座
田井村 勇二・中村 敏子
- 桜町縄文土器の会
松原 二郎・中川 晴夫
- 縄文ごごみの会
小室 登美子・坂田 愛子
- 桜町石斧の会
山本 護・笹川 則子
- 縄文屋
関沢 仁悦
- ひょうたんと縄文の会
高橋 岩一・藤村 秋美

JOMONパーク

桜町遺跡ガイド

桜町縄文人の文化と暮らし

発行日 平成16年3月31日

編集 桜町縄文NET

発行 小矢部市教育委員会

〒932-8611富山県小矢部市本町1-1

TEL.0766-67-1760

E-mail frekisi@city.oyabe.toyama.jp

印刷 39デザイン印刷

こごみちゃんファミリー



こごみちゃんのゆかいで楽しい仲間たちを紹介します。^{しょうかい}

- 左から ●くりぼう(クリの精)^{せい}
●くるるちゃん(クルミの精)
●こごみちゃん(コゴミの精)
●こごたん(コゴミの精、こごみちゃんの弟)
●とちばっちゃん(栃の木の精)^{とち}
上に ●おにやん(オニヤンマの精)

彼らは(オニヤンマ除く)桜町遺跡^{のぞ さくらまち いせき しゅつど}で出土している木の実などの精霊^{せいれい}で、桜町遺跡のイメージキャラクターです。